

土浦一、逆転勝ち

【土浦一】3-2太田一
【評】土浦一が終盤八回に逆転し、太田一との好ゲームを制した。土浦一は2点を追う八

回、藤又、酒井の連続長を放った。古宮は2失点打で1点を返し、反撃の流れをつくった。無死三塁から暴投で同点に追い付き、2死二、三塁から高橋が決勝の中前適時打を放った。古宮は2失点打で1点を返し、反撃の流れをつくった。無死三塁から暴投で同点に追い付き、2死二、三塁から高橋が決勝の中前適時打を放った。

太田一 逃げ切れず

焦点



太田一―土浦一 8回裏、ベンチの場面でマウンドに集まる太田一ナイン。右端が佐藤真投手ノールホーム水戸

八回裏、同点に追い付かれ、なおも2死二、三塁のピンチ。太田一のエース佐藤真大(3年)は、それまで左打者を打ち取っていた外角低めの直球を放った。「よし」。投げた瞬間、好感触を持ったボールは中前にはじき返された。太田一は八回に3失点し、土浦一に逆転負け。佐藤は五回無死三塁、七回無死満塁を無失点で切り抜けたが、最後は力尽きた。試合後、石川陽人主将(同)は「打たれたのはあいつの責任じゃない。打てなかった自分たちの責任」とエースの力投をねぎらった。

佐藤真、八回に力尽く

鉤骨の骨折。春の県大会の出場は断念し、大型連休中に手術で折れた骨を取り除いた。約1カ月間野球ができず、ウェイトトレーニングに励みながらチームを客観的に見つめた。白球に触れない日々の中で、「野球ができる」と感じ、野球を楽しめるようになった。けがの経験が簡単には動けない心をつくり、また、下半身強化が球速と制球力を向上させた。「楽しむ」をテーマに掲げた今大会。この日は8回6安打3失点と粘投した。敗れはしたが、「最後まで思い通りに投げられた。試合を楽しんでいた」と胸を張った。(藤谷俊介)

◇ノールホーム水戸
=第2試合
▽1回戦
太田一-000002000 2
土浦一-00000003x 3
▽三塁打 繁森、酒井
▽二塁打 谷田部、古
又▽暴投 佐藤真、古
宮2▽試合時間 2時
間12分▽審判 根本
一、鈴木厚、窪田、倉田

	打	安	点	振	球
太田一	4	0	0	0	1
土浦一	4	0	0	0	1
三塁打	4	0	0	0	1
二塁打	4	0	0	0	1
暴投	4	0	0	0	1
試合時間	2	時			
審判	根	本			
一	鈴	木			

	打	安	点	振	球
土浦一	3	4	1	0	0
太田一	4	0	0	0	0
三塁打	4	0	0	0	0
二塁打	4	0	0	0	0
暴投	4	0	0	0	0
試合時間	2	時			
審判	根	本			
一	鈴	木			

古宮9 377912

ネット裏



太田一の男 小祝は心臓の病気(心室頻拍)を持っており、中学時代に3回手術し、現在は9割治ったも督」と慕われ、経過観察中で、運動制限がある。祖父、父と同じ太田一に進学後は、野球部で男子マネとして活動。この日、高校野球生活は終わったが、「充実した2年半だった」と表情は充実感に満ちていた。

今後野球に携わるつもりだ。「高校の教員になって、野球部の顧問になり、甲子園を目指す」と話した。